

【表紙】

【提出書類】	訂正発行登録書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年5月13日
【会社名】	株式会社ゼンショーホールディングス
【英訳名】	ZENSHO HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長兼CEO 小川 賢太郎
【本店の所在の場所】	東京都港区港南二丁目18番1号
【電話番号】	03-6833-1600
【事務連絡者氏名】	執行役員 グループ経本部長 丹羽 清彦
【最寄りの連絡場所】	東京都港区港南二丁目18番1号
【電話番号】	03-6833-1600
【事務連絡者氏名】	執行役員 グループ経本部長 丹羽 清彦
【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】	社債
【発行登録書の提出日】	2021年7月30日
【発行登録書の効力発生日】	2021年8月8日
【発行登録書の有効期限】	2023年8月7日
【発行登録番号】	3-関東1
【発行予定額又は発行残高の上限】	発行予定額 40,000百万円
【発行可能額】	25,000百万円 (25,000百万円) (注)発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額(下段()書きは発行価額の総額の合計額)に基づき算出した。
【効力停止期間】	この訂正発行登録書の提出による発行登録の効力停止期間は、2022年5月13日(提出日)である。
【提出理由】	2021年7月30日に提出した発行登録書の記載事項中、「第一部 証券情報 第1 募集要項」の記載について訂正を必要とするため及び「募集又は売出しに関する特別記載事項」を追加するため、本訂正発行登録書を提出する。
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

【訂正内容】

訂正した箇所には、下線を付して表示しております。

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

<株式会社ゼンショーホールディングス第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）に関する情報>

1【新規発行社債】

（訂正前）

未定

（訂正後）

本発行登録の発行予定額のうち、金（未定）百万円を社債総額とする株式会社ゼンショーホールディングス第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）（以下「本社債」という。）を、下記の概要にて募集する予定であります。

各社債の金額　　：金1億円

発行価格　　　　：各社債の金額100円につき金100円

2【社債の引受け及び社債管理の委託】

（訂正前）

未定

（訂正後）

社債の引受け

本社債を取得させる際の引受金融商品取引業者は、次の者を予定しております。

引受人の氏名又は名称	住所
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目13番1号
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目9番2号
大和証券株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

（注）元引受契約を締結する金融商品取引業者は上記を予定しておりますが、各引受人の引受金額、引受けの条件については、利率の決定日に決定する予定であります。

3【新規発行による手取金の使途】

(2)【手取金の使途】

（訂正前）

設備投資資金、運転資金、借入返済資金、社債償還資金、コマーシャル・ペーパー償還資金、投融資資金に充当する予定であります。

（訂正後）

設備投資資金、運転資金、借入返済資金、社債償還資金、コマーシャル・ペーパー償還資金、投融資資金に充当する予定であります。

なお、本社債発行による手取金は、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項」に記載の適格クライテリアを満たす適格プロジェクトに対する新規投資及び既存投資のリファイナンスに充当する予定であります。

「第一部 証券情報」「第2 売出要項」の次に以下の内容を追加します。

【募集又は売出しに関する特別記載事項】

<株式会社ゼンショーホールディングス第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）に関する情報>

1 サステナビリティボンドとしての適格性について

当社は、サステナビリティボンドの発行のために、「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2021」（注1）、「ソーシャルボンド原則（Social Bond Principles）2021」（注2）、「サステナビリティボンド・ガイドライン（Sustainability Bond Guidelines）2021」（注3）、「グリーンボンドガイドライン2020年版」（注4）、「ソーシャルボンドガイドライン（Social Bond Principles）2021年版」（注5）、「グリーンローン原則（Green Loan Principles）2021」（注6）、「ソーシャルローン原則（Social Loan Principles）2021」（注7）及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版」（注8）、に即したサステナビリティファイナンス・フレームワークを策定し、第三者評価として、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」という。）より「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価（注9）」の最上位評価である「SU 1（F）」の評価を取得しております。

- （注1）「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2021」とは、国際資本市場協会（ICMA）が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会（Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee）により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドラインをいい、以下「グリーンボンド原則」といいます。
- （注2）「ソーシャルボンド原則（Social Bond Principles）2021」とは、ICMAが事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会（Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee）により策定されているソーシャルボンドの発行に係るガイドラインをいい、以下「ソーシャルボンド原則」といいます。
- （注3）「サステナビリティボンド・ガイドライン（Sustainability Bond Guidelines）2021」とは、ICMAにより策定されているサステナビリティボンドの発行に係るガイドラインをいいます。
- （注4）「グリーンボンドガイドライン2020年版」とは、グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が2017年3月に策定・公表し、2020年3月に改訂したガイドラインをいいます。
- （注5）「ソーシャルボンドガイドライン2021年版」とは、ソーシャルボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がソーシャルボンドに関する具体的対応を検討する際に参考となるよう、いわゆる先進国課題を多く抱える我が国の状況に即した具体的な対応の例や解釈を示すことで、ソーシャルボンドを国内でさらに普及させることを目的に、金融庁が2021年10月に策定・公表したガイドラインです。
- （注6）「グリーンローン原則（Green Loan Principles）2020」とは、ローン市場協会（LMA）、アジア太平洋地域ローン市場協会（APLMA）及びローンシンジケーション&トレーディング協会（LSTA）により策定された環境分野に用途を限定する融資のガイドラインをいい、以下「グリーンローン原則」といいます。
- （注7）「ソーシャルローン原則（Social Loan Principles）2021」とは、ローン市場協会（LMA）、アジア太平洋地域ローン市場協会（APLMA）及びローンシンジケーション&トレーディング協会（LSTA）により策定された社会的分野に用途を限定する融資のガイドラインをいいます。
- （注8）「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版」とは、環境省が2020年3月に策定・公表したガイドラインをいいます。同ガイドラインでは、グリーンローンについてグリーンローン原則との整合性に配慮しつつ、グリーンローンを国内でさらに普及させることを目的として、借り手、貸し手その他の関係機関の実務担当者がグリーンローンに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈が示されています。
- （注9）「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」とは、JCRの定義するソーシャルプロジェクト又はグリーンプロジェクトに充当される程度並びに当該サステナビリティファイナンスの資金用途等に係る管理、運営及び透明性確保の取組みの程度に対するJCRによる第三者評価をいいます。なお、「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」は、個別の債券又は借入れに関する評価と区別するため、評価記号の末尾に（F）をつけて表示されます。

2 サステナビリティファイナンス・フレームワークについて

当社は、サステナビリティファイナンスの調達を目的として、グリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則及びサステナビリティボンド・ガイドラインが定める4つの要件(調達資金の使途、プロジェクトの評価と選定のプロセス、調達資金の管理、レポートニング)に適合するサステナビリティファイナンス・フレームワークを以下のとおり策定しました。

1. 調達資金の使途

本フレームワークに基づいて調達された資金は、以下の適格プロジェクトに対する新規投資及び既存投資のリファイナンスに充当する予定です。

適格クライテリア (適格プロジェクト分類)	適格プロジェクト例	GBP/SBP 事業区分
[グリーンプロジェクト] 工場・店舗の省エネ化・創エネ化(従来比、設備単体で30%以上のエネルギー効率の改善が見込まれるもの)	<ul style="list-style-type: none"> 工場・外食チェーン店舗の空調設備更新・新規店舗への導入 工場・店舗駐車場照明のLED化 	エネルギー効率 (GBP)
[グリーンプロジェクト] 再生可能エネルギー発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> はま寿司の店舗屋根における太陽光発電設備の導入 	再生可能エネルギー (GBP)
[サステナビリティプロジェクト] チラー水洗浄機・コールドチェーン設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> 食材を低温洗浄・殺菌し、品質を高く保持しながら配送することで、その後の店舗における野菜洗浄工程の集約に資するチラー水洗浄機・コールドチェーン設備の導入 	持続可能な水資源及び廃水管理 (GBP) 社会経済的向上とエンパワーメント (働き方改革) (SBP)
[ソーシャルプロジェクト] 食品廃棄物削減に向けた設備導入	<ul style="list-style-type: none"> はま寿司の店舗へのストレートレーン導入 	食糧の安全保障と持続可能な食糧システム (フードロスと廃棄物の削減) (SBP)
[ソーシャルプロジェクト] フェアトレードによる調達	<ul style="list-style-type: none"> フェアトレードによるコーヒー、紅茶、カカオの調達 	食糧の安全保障と持続可能な食糧システム (小規模生産者の生産性向上) (SBP) 社会経済の向上とエンパワーメント (所得格差の縮小を含む、市場と社会への公平な参加と統合) (SBP)

2. プロジェクトの評価及び選定のプロセス

本フレームワークに基づくサステナビリティボンドの資金使途とする適格クライテリアは、グループ財務部が候補を選定し、社内関係各部との協議を経て、グループ財経本部長が最終決定し代表取締役の承認を得ます。また、その結果を取締役に報告します。

3. 調達資金の管理

当社グループ財務部が、本フレームワークに基づいて調達した資金について、適格プロジェクトへの充当や管理を、内部管理システムを用いて行います。調達資金については、その同額が適格プロジェクトまたは適格プロジェクトの実施において調達した借入金等の返済資金に充当されるため、原則として未充当金は発生しない予定であるものの、適格プロジェクトへの充当期の遅れ等により調達資金の未充当期間が発生する場合、未充当金は現金及び現金同等物にて管理されます。

4. レポートニング

当社は、資金充当状況レポートニング及びインパクト・レポートニングを、当社ウェブサイト等にて年次で開示します。初回の開示は、サステナビリティボンド発行から1年以内に行う予定です。なお、調達資金の充当計画に大きな変更が生じた場合や、調達資金の充当後に計画に大きな影響を及ぼす状況の変化が生じた場合は、適時に開示する予定です。

(1) 資金充当状況レポート

当社はサステナビリティボンド発行から、サステナビリティボンドにて調達された資金が全額適格プロジェクトに充当されるまでの間、調達資金の充当状況に関する以下の項目について開示する予定です。

- ・ 調達金額
- ・ 充当金額
- ・ 未充当金の残高及び運用方法
- ・ 調達資金のうちリファイナンスに充当された部分の概算額または割合

(2) インパクト・レポート

当社はサステナビリティボンド発行から償還されるまでの間、適格プロジェクトによる環境及び社会改善効果に関する以下の項目について実務上可能な範囲において開示する予定です。

適格クライテリア（適格プロジェクト分類）	レポート項目
[グリーンプロジェクト] 工場・店舗の省エネ化・創エネ化 (従来比、設備単体で30%以上のエネルギー効率の改善が見込まれるもの)	・ 新規導入・入替した空調設備・LED照明数 ・ 導入・入替した設備の省エネ性能
[グリーンプロジェクト] 再生可能エネルギー発電設備の導入	・ 導入設備の発電容量 (kw) ・ 温室効果ガス削減量 (t-CO2)
[サステナビリティプロジェクト] チラー水洗浄機・コールドチェーン設備の導入	[アウトプット] ・ チラー水洗浄機・コールドチェーン設備の概要 [アウトカム] ・ (グリーン) 使用水道水削減量 (t) ・ (ソーシャル) 冷水作業時間の短縮効果(時間) [インパクト] ・ 職場環境の改善を通じた持続可能な水資源利用の実現
[ソーシャルプロジェクト] 食品廃棄物削減に向けた設備導入	[アウトプット] ・ 導入設備(ストレートレーン)の概要 [アウトカム] ・ 食品廃棄物削減量 (t) [インパクト] ・ 食品廃棄物削減を通じた、持続的な食糧供給システムの維持
[ソーシャルプロジェクト] フェアトレードによる調達	[アウトプット] ・ フェアトレードによる調達状況 [アウトカム] ・ フェアトレードを通じて支援する小規模農家の数 [インパクト] ・ 開発途上国における小規模農家の支援を通じた、持続的な食糧供給システムの維持